

第4期多摩区区民会議 第7回自然災害部会

日時：平成25年8月22日（木）18：00～

会場：多摩区役所10階1001会議室

次 第

1 審議テーマに関する取組内容について ～具体的な取組、実施主体の検討～

2 その他

審議テーマ検討の観点

- ① 方向合致度
→多摩区の目指すべき姿に向かったものか（ひと・水・緑-住み続けたいまち 多摩区（都市マス多摩区構想））。
- ② 市民協働性・実現性
→市民協働の手法で解決できるものか。
- ③ 公益性
→広く区民の利益をもたらすものか。
- ④ 区民ニーズ・必要性
→区や区民の関心が高いものか、必要とされているものか。
- ⑤ 緊急性
→第4期で取り組むべきものか、早急な取り組みが必要か、時宜を得たものか。

第4期 多摩区区民会議委員名簿

平成24年11月6日現在

任期：平成24年7月1日～平成26年6月30日 (敬称略・50音順)

NO	氏名	部会	推薦団体 及び 活動団体
1	安倍 修司	自然災害部会	多摩区商店街連合会
2	荒井 精一	☆自然災害部会 企画部会	市民公募
3	○石橋 吉章	自然災害部会 企画部会	区長推薦
4	岩崎 宏政	自然災害部会	多摩区・3大学連携協議会
5	◎大津 努	コミュニティ部会 企画部会	多摩区社会福祉協議会
6	清宮 明	自然災害部会	多摩防犯協会
7	国保 久光	コミュニティ部会	川崎市医師会多摩区医師会
8	小塚 千津子	コミュニティ部会	多摩区こども総合支援連携会議
9	白井 正壽	コミュニティ部会	セレサ川崎農業協同組合
10	辻野 勝行	☆コミュニティ部会 企画部会	市民公募
11	○戸高 仁子	コミュニティ部会 企画部会	かわさきかえるプロジェクト
12	西山 英子	コミュニティ部会	多摩区文化協会
13	新田 渉世	自然災害部会	区長推薦
14	配島 裕美	コミュニティ部会	多摩区地域教育会議
15	原田 弘	自然災害部会	多摩交通安全協会
16	藤原 司	自然災害部会	区長推薦
17	細埜 隆己	★自然災害部会 企画部会	登戸土地区画整理事業まちづくり推進協議会
18	本多 正典	コミュニティ部会	市民公募
19	松本 英嗣	★コミュニティ部会 企画部会	多摩区町会連合会
20	吉田 輝久	自然災害部会	多摩区自主防災組織連絡協議会

◎委員長 ○副委員長 ☆部会長 ★副部会長

【参与】

市議会議員

井口 真美 河野 ゆかり 斉藤 隆司 菅原 進 露木 明美
橋本 勝 廣田 健一 三宅 隆介 吉沢 章子

県議会議員

青山 圭一 土井 りゅうすけ

■自然災害部会一区長への結果報告までの具体的な道筋を見通し、作業を進めよう！

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	まとめ期間 (11月24~3月中旬)		区長への結果報告 成果物のイメージ (実施主体を明示)
							全⑤ 6/21	部⑥ 7/29	
1	<p>具体的な取り組み</p> <p>●多摩区版「備える。かわさき」の作成</p>	<p>●パンフレット チーム ・マグネット方式 「あなたの防災情報」(仮)の作成 ・町内会・自治会 掲示板への避難所 掲載 ・閲覧版方式は引き 続き検討</p>	<p>●アンケートチ ーム ・町内会・自治会 向けアンケートの 実施⇒アンケート 作成 ・3大学関係者へ の趣旨・経緯の説 明(岩崎委員)⇒大 学との連携に関す る論点(聞きたい こと)の整理⇒大 学関係者ヒアリン グの実施</p>	<p>部⑧</p>	<p>フォーラム11/23(土)</p> <p>多摩区版 備える。かわさき 案</p>				
3	<p>●閲覧板を活用した情 報周知</p>	<p>・以下の通りチ ームを編成 安部委員、吉田 委員、原田委員、 細松委員、清宮 委員、藤原委員</p> <p>・多摩区版「備 える。かわさき」 と一緒に検討す る</p>							
5	<p>●避難所・備蓄倉庫に 関する取組</p>	<p>・一時避難所の設 置についてアン ケートを実施す る ・以下の通りチ ームを編成 荒井委員、岩崎 委員、石橋委員、 新田委員</p>							
4	<p>●区内在住大学生と地 域との連携の仕組 みづくり ①大学生・地元 の意向把握 ②学生向け防災パ ンフレットの作成 ・配付 ③中学生・高 校生・大学生の HUG体験</p>	<p>①-1 3大学連 携会議で説明の 上アンケートを 実施する ①-2 町内会・ 自治会向けアン ケートを実施す る</p> <p>②多摩区版「備 える。かわさき」 と一緒に検討す る</p> <p>③実施状況を 把握し委員も 参加する</p>	<p>・大学・地域の 意見を踏まえた 上で検討 ・中学生・高 校生・大学生 HUG体験を 提案 ・次回防災マ ップづくり作 業</p>						
2	<p>●身近な単位での防 災マップの作成</p>	<p>・全委員で多摩 区全体の防災 マップを作成 する</p>							



多摩区区民会議 第7回自然災害部会（8月22日開催）メモ

【取組1】「備える。かわさき」多摩区版の作成

■担当委員

安陪委員、吉田委員、原田委員、細埜委員、清宮委員、藤原委員

■第5回全大会（9月4日）・フォーラム（11月23日）に向けた資料の作成

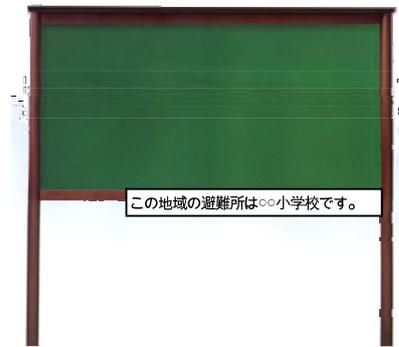
①マグネット方式

- ・イメージ（細埜委員）案
- ・配布先・配布方法：全世帯に配布
- ・サイズ 8cm×12cm程度



②町内会掲示板・広報掲示板方式

- ・町内会・自治会掲示板、広報掲示板等に、「この地域の避難所は〇〇です」と掲示。



③回覧板方式

- ・回覧板作成状況の把握（形態、業者、費用負担、作成見直しの時期 等）
- ・防災情報掲載内容、掲載方法の検討



■フォーラムまでのスケジュール

	第6回部会 7月29日	第7回部会 8月22日	第5回全体会 9月4日	第8回部会 10月 日	フォーラム 11月23日
カレンダー	・配付対象、形態、配付方法、掲載内容 等の検討	・「備える。かわさき」多摩区版 素案の検討	・「備える。かわさき」多摩区版 素案に対する意見聴取	・全体会意見を踏まえた「備える。かわさき」多摩区版 案の検討	・「備える。かわさき」多摩区版 案の提示と意見聴取

【取組2】町内会・自治会向けアンケートの実施

■担当委員

荒井委員、岩崎委員、石橋委員、新田委員

■アンケート案

別紙参照

■フォーラムまでのスケジュール

	第6回部会 7月29日	第7回部会 8月22日	第5回全体会 9月4日	第8回部会 10月 日	フォーラム 11月23日
カレンダー	・実施主体、形態、 実施方法、設 問 等の検討	・アンケート設問 の確定 ⇒町内会役員 会 等 で 説 明・依頼	・アンケート実施 内容の説明	・アンケートの集 計・分析 ・提言内容の検討	・アンケート集 計・分析結果 の報告と意見 聴取

【取組3】防災マップの作成

■グループ分け

2人1組で、白図に情報を記載する作業を行う。

■記載事項の決定

- ・避難所
- ・一時避難場所
- ・広域避難場所
- ・防災井戸
- ・給水拠点
- ・消火器・消火栓
- ・救急病院
- ・公共施設（こども文化センター、市民館 …）
- ・危険物等取扱施設（ガソリンスタンド …）
- ・危険個所（電柱変圧器、急傾斜地、階段、行き止まり …）
- ・学校区・町丁境 等

(案)

平成25年9月 日

町内会・自治会長様

「自然災害とコミュニティに関するアンケート」ご協力のお願い

厳しい残暑が続く毎日ですが、皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日ごろから、多摩区の地域づくりにまい進されていることご苦労様に存じます。

多摩区区民会議では、第4期（平成24～25年度）のテーマとして、「3.11大震災」以来、深刻度を増した**自然災害への対策とコミュニティ（地域）の絆づくり**の二つに絞り込み、検討を重ねてまいりました。

来る11月23日（土）には、区民フォーラムを開催し、多くの区民の皆様からこのテーマに関する意見をいただき、それらの意見を踏まえ、今年度末に区民会議としての提案を区長に提出する予定です。

つきましては、この二つのテーマに関して、地域で重大な役割を果たしておられる自治会・町内会の取組状況とお考えを伺い、提案作成の基礎とするためアンケートを実施させていただくことになりました。

ご多忙のおり、誠に恐縮ですが、是非ともご協力くださいますようお願い申し上げます。

多摩区区民会議委員長 大津 努

ご記入にあたって

- ・二つのテーマについてのアンケートです。各テーマについて詳しい方がおられれば、ご相談の上、ご記入いただきますようお願いいたします。
- ・調査結果は、数値やパーセンテージで表され、貴団体の情報が外部に漏れることはありません。
- ・本調査の結果を、事業の目的以外に使用することはありません。
- ・このアンケート票は、別添の返信用封筒に入れて 月 日（ ）までにご投函をお願いいたします。

(アンケートの問い合わせ先)

多摩区役所企画課 担当 ○○、○○

電話 044-935-3127

<テーマⅠ> 自然災害の取組状況と日ごろのお考えについてうかがいます。

平成22年3月11日の東日本大地震以来、近い将来必ず起こるといわれている首都圏大地震への関心の高まり、また近年の気候変動による風水害の多発の影響を受け、地域の安心・安全を高める自然災害へ対策が急務となっております。そこで、あなたの町内会・自治会の自然災害への取組状況や日ごろのお考えについて、お聞かせください。

1 自然災害への防災訓練や防災講演会について伺います。

(1) あなたの町内会・自治会では、防災訓練を実施していますか？
(いずれかに○をしてください。)

- 1 している 2 していない 3 その他 ()

(2) あなたの町内会・自治会では、防災に関する講演会などを開催していますか？
(いずれかに○をしてください。)

- 1 している 2 していない 3 その他 ()

2 一時避難場所(注※)について伺います。

※一時避難場所とは

- 地域住民が震災(建物の損壊、火災の延焼拡大、危険物の流出・漏えい、津波など)から身の安全を図るため、一時的に避難する場所で、近くの公園や団地、マンション広場などのことです。
- 各町会・自治会・自主防災組織ごとに任意で決めていただいています。

(1) あなたの町内会・自治会では、一時避難場所を指定していますか？ 指定している、指定していないのどちらかに○のうえ、続く質問にお答えください。

- 1 指定している

↳ (1-2) 指定した一時避難場所について、どのように周知していますか？

(いずれかに○をしてください)

- 1 回覧 2 チラシ 3 その他 ()

- 2 指定していない

↳ (2-2) 指定していない理由はなんですか？ (いずれかに○をしてください)

- 1 避難所が近いので一時避難場所を指定する必要性がない。
2 一時避難場所を指定したいが、適当な場所がない。
3 一時避難場所の必要性を認めているが、指定に手が回らない。
4 一時避難場所の指定についてこれまで検討したことがない。
5 近いうちに、指定する予定である。
6 その他 ()

裏面のアンケートにもご協力をお願いします。

3 多摩区には専修大学、明治大学、日本女子大学の3大学キャンパスがあり、区内に在住する学生も多くいます。そこで、3大学の学生と防災対策について伺います。

(1) 学生との連携についてはどのようにお考えですか？（いずれかに○をしてください。）

- 1 日常的に地域住民のひとりとして、防災訓練などへ参加してほしい。
- 2 いざという時に、地域住民のひとりとして協力してほしい。
- 3 私たちの町内会・自治会では、大学生との連携の必要性をあまり感じていない。

(2) 災害時に学生さんにはどんな協力をしてもらいたいとお考えですか？（ご自由にお書き下さい。）

